

# 令和5年 第3回定例会 文教警察委員会 説明資料

1	県立学校先端技術活用教育推進事業について	P 1
2	令和7年度採用茨城県公立学校教員選考試験の早期化・複数回実施について	P 3
3	令和5年度全国学力・学習状況調査の結果概要について	P 4
4	教職員の懲戒処分について	P 5
5	(仮称)神栖特別支援学校整備事業について	P 7
6	県立高等学校等における校長公募選考について	P 9
7	つくば市の中学校卒業生数増加への対応について	P 10
8	第47回全国高等学校総合文化祭 鹿児島大会の結果について	P 11
9	令和5年度全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会等の結果について	P 12
10	部活動の特例措置について	P 15
11	部活動地域移行の進捗について	P 16
12	台風第13号における被害状況及び県教育委員会の対応について	P 17

令和5年9月14日

教 育 庁

# 1 県立学校先端技術活用教育推進事業について

学校教育部 教育改革課

<p>事業名又は議案の 名 称</p>	<p>県立学校先端技術活用教育推進事業</p>																																									
<p>1 予 算 額</p>	<p>19,847千円</p>																																									
<p>2 現況・課題</p>	<p>令和元年度に整備した県立中学校向け1人1台端末（310台）の半数以上に経年劣化等による不具合が発生している。</p>																																									
<p>3 必要性・ねらい</p>	<p>先端技術を効果的に活用できる環境を維持するとともに、生徒の学びを保障するため、1人1台端末の更新をするもの。</p>																																									
<p>4 事業の内容 (事業フロー、 年次別・全体計 画等)</p>	<p>1 対象 令和元年度に整備した県立中学校5校向けの1人1台端末</p> <p>2 内容 1人1台端末（Chromebook） 310台 （保護ケース、端末管理ツール、初期設定費用を含む）</p>																																									
<p>5 参考事項 (過去の実績、 他県の状況、 関連データ等)</p>	<table border="1" data-bbox="491 1431 1430 1740"> <thead> <tr> <th data-bbox="491 1431 724 1520">                     整備年度 開校年度                 </th> <th data-bbox="724 1431 871 1520">R 元年度</th> <th data-bbox="871 1431 1007 1520">R2 年度</th> <th data-bbox="1007 1431 1147 1520">R3 年度</th> <th data-bbox="1147 1431 1287 1520">R4 年度</th> <th data-bbox="1287 1431 1430 1520">R5 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="491 1520 724 1568">既設</td> <td data-bbox="724 1520 871 1568">—</td> <td data-bbox="871 1520 1007 1568">3校</td> <td data-bbox="1007 1520 1147 1568">—</td> <td data-bbox="1147 1520 1287 1568">—</td> <td data-bbox="1287 1520 1430 1568">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1568 724 1615">R2 開校</td> <td data-bbox="724 1568 871 1615">5校</td> <td data-bbox="871 1568 1007 1615">5校</td> <td data-bbox="1007 1568 1147 1615">5校</td> <td data-bbox="1147 1568 1287 1615">—</td> <td data-bbox="1287 1568 1430 1615">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1615 724 1662">R3 開校</td> <td data-bbox="724 1615 871 1662">—</td> <td data-bbox="871 1615 1007 1662">3校</td> <td data-bbox="1007 1615 1147 1662">3校</td> <td data-bbox="1147 1615 1287 1662">3校</td> <td data-bbox="1287 1615 1430 1662">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1662 724 1709">R4 開校</td> <td data-bbox="724 1662 871 1709">—</td> <td data-bbox="871 1662 1007 1709">—</td> <td data-bbox="1007 1662 1147 1709">2校</td> <td data-bbox="1147 1662 1287 1709">2校</td> <td data-bbox="1287 1662 1430 1709">2校</td> </tr> <tr> <td data-bbox="491 1709 724 1740">整備台数合計</td> <td data-bbox="724 1709 871 1740">310台</td> <td data-bbox="871 1709 1007 1740">2,010台</td> <td data-bbox="1007 1709 1147 1740">711台</td> <td data-bbox="1147 1709 1287 1740">443台</td> <td data-bbox="1287 1709 1430 1740">96台</td> </tr> </tbody> </table>						整備年度 開校年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度	既設	—	3校	—	—	—	R2 開校	5校	5校	5校	—	—	R3 開校	—	3校	3校	3校	—	R4 開校	—	—	2校	2校	2校	整備台数合計	310台	2,010台	711台	443台	96台
整備年度 開校年度	R 元年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度																																					
既設	—	3校	—	—	—																																					
R2 開校	5校	5校	5校	—	—																																					
R3 開校	—	3校	3校	3校	—																																					
R4 開校	—	—	2校	2校	2校																																					
整備台数合計	310台	2,010台	711台	443台	96台																																					

【R5. 9月補正予算額 20百万円】

教育庁学校教育部教育改革課ICT教育推進室（029-301-5308）

県立中学校に整備した1人1台端末を更新整備し、先端技術を活用した質の高い教育を推進します。

## 1 内容

- 2019年（令和元年）度に整備した県立中学校5校の1人1台端末310台の更新



## 2 背景及び目的

- 2019年（令和元年）度に整備した1人1台端末の半数以上に経年劣化等による不具合が発生
- 1人1台端末の更新を行うことで、先端技術を効果的に活用できる環境を維持、生徒の学びを保証

## 2 令和7年度採用茨城県公立学校教員選考試験の早期化・複数回実施について

学校教育部教育改革課

### 1 早期化について

関東近県よりもさらに早期に実施し、意欲のある優秀な人材の確保に努める。

実施内容	来年度計画	今年度実施
出願期間	3月中	4/7～4/28
第1次試験	2024年5月12日(日)	6/25
第1次試験結果通知	6月頃	7/19
第2次試験	7月頃	8/18, 19, 20
第2次試験結果発表	8月頃	9/29

### 2 複数回実施について

大学3年生を対象とした前倒し選考を実施

#### 【概要】

試験日	2023年12月17日(日)
試験会場	水戸市内
受験資格	大学3年生
募集職種	小学校教諭
試験内容	教職専門試験 ※ 合格者は、来年度実施の第1次試験の教職専門試験を免除 (専門教科試験のみ受験)

#### <参考>

「公立学校教員採用選考試験の早期化・複数回実施等について 方向性の提示」について  
(R5.5.31 文部科学省)

民間企業や公務員試験の採用活動が早まっていることなどを受け、来年度実施の教員選考試験について、主に以下の方向性を提示

- ・ 6月16日を標準日としてできるだけ前倒しして選考を実施
- ・ 選考試験を複数回実施し、大学3年生でも受験できる仕組み

### 3 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果概要について

学校教育部義務教育課

#### 1 調査概要

(1) 調査実施日 2023年4月18日(火)〈悉皆調査〉

(2) 調査を実施した学校・児童生徒数

(学校数、児童生徒数には、特別支援学校を含む)

		小学校調査(6年)		中学校調査(3年)	
		学校数	児童数	学校数	生徒数
茨城県	公立学校	461校	21,927人*	233校	21,642人*
全 国	公立学校	18,618校	964,350人*	9,337校	893,528人*

\* 児童生徒数は教科・分野ごとに異なるが、最大数を記している。

①小学校 ・教科に関する調査：国語(14問)、算数(16問)  
・児童質問紙

②中学校 ・教科に関する調査：国語(15問)、数学(15問)、英語(17問)  
・生徒質問紙

※ 解答方式：選択式(マークシート)、短答式、記述式のいずれかによる。

#### 2 結果一覧(公立)

(%は平均正答率)

区分	小学校調査(6年)		中学校調査(3年)		
	国語	算数	国語	数学	英語
茨城県	67%	61%	71%	51%	45%
全 国	67.2%	62.5%	69.8%	51.0%	45.6%
県一国	-0.2	-1.5	+1.2	±0	-0.6
順 位	17位	27位	5位	15位	15位

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数値で国から提供されている。

※ 英語は、4年ぶりの実施である。

#### 【参考】前回調査(2022年度)の結果

★英語は2019年度の結果 (%は平均正答率)

区分	小学校調査(6年)		中学校調査(3年)		
	国語	算数	国語	数学	英語★
茨城県	65%	62%	70%	50%	56%
全 国	65.6%	63.2%	69.0%	51.4%	56.0%
県一国	-0.6%	-1.2%	+1.0%	-1.4%	±0
順 位	23位	24位	5位	28位	13位

※ 都道府県別の教科の平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数値で国から提供されている。

#### 3 課題への対応

- 課題改善策について、市町村教育委員会指導主事が参加する学力向上推進協議会において協議(5月)
- 県独自の報告書を作成し、全校に配付(7月)  
※ 学校訪問での指導・助言や校内研修において活用
- 指導上の課題改善のポイントを焦点化した「指導教諭等による授業動画」、「家庭学習の充実を図るミニ動画」を作成

## 4 教職員の懲戒処分について

学校教育部義務教育課

### (1) 同僚教職員への不適切な言動等

項目	内容
対象職員	県西地区の小学校 教頭 (59歳 男)
事件概要	令和4年9月頃から翌年3月までの間、勤務先の校内において、同僚女性教職員からの依頼を受けて施設の修理などを行った後に、お礼のキスを求める趣旨の発言を複数回行ったほか、肩を軽く叩くなど不必要な身体的接触を行った。
処分内容	停職1月
処分年月日	令和5年6月26日
その他	当時の校長に対しては、管理監督者としての指導監督に適正を欠いていたと認められることから、戒告とした。

### (2) 酒気帯び運転

項目	内容
対象職員	日立市立金沢小学校 教諭 田崎 公視 (39歳 男)
事件概要	令和5年6月9日(金)午後7時頃から翌10日(土)午前0時頃まで、日立市内の飲食店で行われた勤務校教員との懇親会において、生ビール中ジョッキ8杯程度を飲酒した。 予約した運転代行を2時間半程度待ったが来なかったことから午前0時30分頃、自家用車を運転し始め、帰宅する途中、警察車両に停止を求められ、呼気検査の結果、呼気1リットル中0.15ミリグラム以上のアルコールが確認されたことにより、酒気帯び運転で検挙された。
処分内容	懲戒免職
処分年月日	令和5年7月25日
その他	校長に対しては、管理監督者としての指導監督に適正を欠いていたと認められることから減給1月(10分の1)とした。

(3) 教員による窃盗

項目	内容
対象職員	県立常陸太田特別支援学校 教諭 関矢 文子 (37歳 女)
事件概要	<p>令和5年2月22日(水)午後4時20分頃、対象職員が日立市内のスーパーマーケットにおいて、弁当等、計21点を、レジを通さずに店外に持ち出したところ、警備員に取り押さえられた。</p> <p>店からの通報を受けて駆けつけた警察署員に窃盗の疑いで現行犯逮捕された。</p>
処分内容	停職6月
処分年月日	令和5年7月25日
その他	当時の校長については、既に県を退職しており、服務監督権を行使できないことから、措置の対象外。

## 5 (仮称) 神栖特別支援学校整備事業について

特別支援教育課・財務課

<p>事業名又は議案の名称</p>	<p>(仮称) 神栖特別支援学校整備事業 <b>【新規】</b></p>														
<p>1 予算額</p>	<p>257,785千円</p>														
<p>2 現況・課題</p>	<p>特別支援学校に在籍する児童生徒の増加への対応については、2020年に「いばとくプラン」を策定し、校舎の増築などにより、不足教室の解消に取り組んでいる。</p> <p>一方、鹿行地域で唯一の特別支援学校である鹿島特別支援学校は、特に、神栖市内からの通学に相当の時間を要することが課題となっており、スクールバスの運行コースの見直しや増車などの対策を講じてもおお、神栖市の地理的特性などから通学時間の短縮が困難となっている。</p> <p>また、地元からも、市内への特別支援学校の設置についてご要望もいただいている。</p>														
<p>3 必要性・ねらい</p>	<p>神栖市域から長時間をかけて鹿島特別支援学校に通学する児童生徒の通学距離と通学時間の短縮を図り、通学に係る心身の負担を軽減する必要がある。</p>														
<p>4 事業の内容 (事業フロー、年次別・全体計画等)</p>	<p>児童生徒の通学に係る心身の負担軽減を図るため、神栖市内に特別支援学校を新設する。</p> <p><b>【整備スケジュール】</b></p> <table border="1" data-bbox="531 1240 1350 1328"> <tr> <td>2023</td> <td>2024</td> <td>2025</td> <td>2026</td> <td>2027</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設計・測量</td> <td colspan="2">工事</td> <td>開校</td> </tr> </table> <p>総事業費約40億円 (うち設計委託等：257,785千円※今回計上)</p> <p><b>【新校設置の効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童生徒の最も長い通学距離・通学時間 約40キロメートル・約80分 → 約20キロメートル・約40分(概ね半減)</li> <li>○ 神栖市内のスクールバスの全運行ルート平均運行時間 約72分 → 約33分(概ね半減)</li> </ul> <p><b>【新校の概要】</b> 別紙のとおり</p>					2023	2024	2025	2026	2027	設計・測量		工事		開校
2023	2024	2025	2026	2027											
設計・測量		工事		開校											
<p>5 参考事項 (過去の実績、他県の状況、関連データ等)</p>															



# (仮称) 神栖特別支援学校整備事業（新規）

【R5. 9月補正予算額 258百万円】

教育庁学校教育部特別支援教育課管理G (029-301-5272)  
 教育庁総務企画部財務課施設G (029-301-5173)

神栖市域から長時間をかけて鹿島特別支援学校に通学する児童生徒の、通学に係る心身の負担軽減を図るため、神栖市内に特別支援学校を新設します。

通学区域	神栖市				
学 部	小学部、中学部、高等部				
規 模	約150人・35学級				
設置場所	神栖市須田地内 (神栖市若松運動場隣接地)				
開校目標	2027年（令和9年）4月				
整備スケジュール	2023	2024	2025	2026	2027
	設計・測量		工事		開校
効 果	総事業費：約40億円 (うち設計委託等:258百万円) 最長通学距離・時間が半減 約40km・80分 ⇒ 約20km・40分				



## 6 県立高等学校等における校長公募選考について

学校教育部高校教育課

### 1 目的

- ・ 本県においては、「第2次 茨城県総合計画～『新しい茨城』への挑戦」に基づき、時代の変化に対応し、自ら考え、自ら行動し、解決できるような「人財」の育成に向けて、様々な施策を展開
- ・ 県立高等学校改革プランでは、新たな価値を創造する「起業家精神」を育成するため、これまでに県内各地に中高一貫校を設置し、探究活動、国際教育、科学教育等に重点を置いた教育を6年間で計画的・継続的に展開
- ・ また、全国初となるIT専科高校を含む2校を令和5年度から新たに開校して、AI・IoTなど科学技術の進展やIT人財の不足という社会の変化に対応
- ・ 中高一貫教育校及び特色ある専科高校の校長を公募により選考することにより、これまでのキャリアで培われたマネジメントのノウハウを十分に発揮し、過去の事例にとらわれない新たな発想に基づく、新しい時代の学校のマネジメントと人財の育成に期待

### 2 内容

#### (1) 配置校 7校

- ・ 併設型中高一貫教育校 4校(日立一、太田一、鹿島、下館一)
- ・ 中等教育学校 2校(並木中等教育、古河中等教育)
- ・ 専科高校 1校(IT未来)

※ 配置校は、選考結果を踏まえ決定

※ 公募校長の任期について

任期4年。校長としての成果と本人の意思確認により、県教育委員会が継続必要と判断した場合は、さらに4年の任期として採用できるものとする。

(2) 採用年月日 令和6年4月1日

(3) 応募資格 ① 年齢制限なし

② 管理職等の経験を有する者

※エン・ジャパン(株)のサイトより応募。

(4) 募集期間 令和5年7月31日(月)～8月27日(日)

(5) その他 民間人、本県職員ともに、特定任期付職員として採用

民間人は、1年目は副校長として勤務し、2年目から校長に登用

### 3 応募状況

応募者総数	974名
-------	------

### 4 今後のスケジュール(予定)

第1次選考	書類選考	随時実施
第2次選考	録画面接	1次選考合格者に対して随時実施
第3次選考	面接試験 (オンライン)	令和5年9月下旬～10月上旬
第4次選考	面接試験(対面)	令和5年11月上旬
合格発表		令和5年11月中旬

## 7 つくば市の中学校卒業生数増加への対応について

学校教育部高校教育課

### 1 概要

- 県全体の中学校卒業生数（推計）は大きく減少する一方、つくばエリア（エリア⑩：つくば市、守谷市、常総市、つくばみらい市）は増加傾向にある。

【中学校卒業生数の推移（推計）】

（単位：人）

卒業年 （各年3月）	2023(R5)年	2024(R6)年	2026(R8)年	2030(R12)年	増減 (R12-R5)
県全体	25,554	25,295	24,442	23,129	△2,425
つくばエリア	4,229	4,242	4,384	4,753	+524

- つくばエリアのほか周辺市町村を含めた今後の中学校卒業生数の推移を踏まえ、つくば市からの通学利便性や志願状況、施設の状況等を勘案し、牛久栄進高校の1学級増を実施する。
- また、欠員の生じているつくば市内の高校の魅力づくりのため、筑波高校に新たに進学対応のコースを設置し別枠で募集する。
- 今後も、中学校卒業生数の推移や志願状況等を踏まえ、必要に応じて対応を検討する。

### 2 実施内容

#### (1) 募集学級数の変更（+1学級）

学校名	学科名	募集学級数		増減
		2023(R5)年度	2024(R6)年度	
牛久栄進	普通科	8学級	9学級	+1学級

#### (2) 魅力づくり（コースの設置）

2023(R5)年度		⇒	2024(R6)年度	
学校名	学科名		学科名	
筑波	普通科	普通科[進学アドバンスコース(仮称)]	1学級	
		普通科[地域キャリアビジネスコース(仮称)]	2学級	
計	3学級	3学級		

#### ○普通科[進学アドバンスコース(仮称)]

<進路：進学（四年制大学等）>

- ・ 国語、数学、英語を重点的に学習、選択科目により多様な学部・学科等へ対応
- ・ 課題解決型学習(PBL)により社会へ参画する力を育成（市内大学と連携）
- ・ AIドリルを授業に取り入れ、徹底した個別最適化学習を展開

#### ○普通科[地域キャリアビジネスコース(仮称)]

<進路：就職、進学（専門学校等）>

- ・ これまでの取組（「つくばサポートタイム」での基礎基本の学習、体験的地域学「つくばね学」での実習・探究、各種検定試験へのチャレンジ）を継承し、人間力を向上

## 8 第47回全国高等学校総合文化祭鹿児島大会の結果について

総務企画部文化課

- 1 開催期間 令和5年7月29日(土)～8月4日(金)〔7日間〕  
 2 開催部門 総合開会式、パレード、規定19部門、協賛3部門  
 3 本県参加数 総合開会式、パレード、規定17部門、協賛1部門  
 延べ65校357人参加(派遣人数 延べ351人)

### 4 受賞結果

部門		成績	学校名等
パレード(マーリングバンド)		グッドパレード賞	県立大洗高等学校
マーチングバンド・バトントワリング (マーチングバンド)		講評者特別賞	県立大洗高等学校
写真		優秀賞	県立藤代高等学校
放送	朗読部門	審査員特別賞	県立並木中等教育学校
書道		菅公賞・特別賞	県立竜ヶ崎第一高等学校
		特別賞	県立水戸第三高等学校
自然科学	物理部門	奨励賞	県立土浦第三高等学校
	生物部門	奨励賞	県立並木中等教育学校

### 5 部門別参加校 ※は競技・コンクール実施部門

#### ○開会行事

総合開会式	日立第一	パレード	大洗
-------	------	------	----

#### 規定部門

種目	代表校	種目	代表校
合唱	水戸一	吹奏楽	古河中等
器楽・管弦楽	茨城キリスト	日本音楽	取手聖徳女子
郷土芸能	茎崎	マーチングバンド・ バトントワリング	大洗
美術・工芸	日立一、笠間、水戸一、緑岡、 取手松陽、並木中等、古河一、 古河中等、銚田一	書道	麻生、竜ヶ崎一、水海道二、多賀、 水戸三、水戸桜ノ牧、下妻一、 藤代紫水、茗溪
写真	水城、古河中等、多賀、水戸啓明、 藤代、下館一、佐和、下妻二、 笠間、水海道一	放送	水戸二、並木中等、水戸一、 岩瀬日大、太田一、緑岡
囲碁	緑岡、土浦一、竹園	将棋	緑岡、水戸葵陵、下妻二、竹園、土 浦日大、茨城
弁論	土浦三、太田一	小倉百人一首 かるた	銚田一
新聞	つくば秀英、古河中等、岩瀬日大	文芸	水戸二、水戸三、水戸葵陵、 日立二
自然科学	土浦三、並木中等、日立一		

#### ○協賛部門

軽音楽	竹園
-----	----

## 9 令和5年度全国中学校体育大会及び全国高等学校総合体育大会等の結果について

学校教育部保健体育課

### 1 全国中学校体育大会

#### (1) 全国中学校体育大会の概要

- ア 開催競技 陸上競技 外15競技
- イ 開催期間 令和5年8月17日(木)～26日(土)
- ウ 開催地 愛媛県、香川県、徳島県、高知県

#### (2) 本県代表の状況

##### ア 主な成績

区分	全体		
	個人	団体	
優勝	1競技のべ1種目	1競技のべ1種目	—
入賞 (8位以内)	4競技のべ10種目	2競技のべ8種目	2競技のべ2種目

##### イ 入賞者・校一覧

成績	競技名	種目	入賞者・入賞校名		
			氏名	学年	学校名
1位	陸上	女子100mハードル	香取 菜摘	3	三和中学校
2位					
3位	剣道	女子団体	—	—	青葉中学校
	陸上	男子200m	庄司 蓮	3	中郷中学校
	ソフトテニス	女子団体	—	—	取手第一中学校
4位	陸上	女子100mハードル	廣田 ひかり	3	三和中学校
5位					
6位	水泳	女子200m自由形	鈴木 彩芽	1	結城中学校
	水泳	女子400m自由形	中澤 桃菜	3	古河第三中学校
7位	水泳	女子200mバタフライ	吉村 花歩	3	結城中学校
8位	水泳	女子400m自由形	鈴木 彩芽	1	結城中学校
	陸上	男子走高跳	小砂川 慶士	3	滑川中学校

※ベスト4は3位扱い、ベスト8は5位扱い

## 2 全国高等学校総合体育大会

### (1) 「翔び立て若き翼 北海道総体 2023」の概要

- ア 開催競技 陸上競技 外 29 競技
  - イ 開催期間 令和5年7月22日(土)～8月21日(月)
  - ウ 開催地 北海道、山形県、栃木県、和歌山県
- ※総合開会式は、北海きたえーる(北海道)で実施

### (2) 本県代表の状況

#### ア 主な成績

区分	全体		
	個人	団体	
優勝	5 競技のべ 5 種目	2 競技のべ 2 種目	3 競技のべ 3 種目
入賞 (8位以内)	12 競技のべ 34 種目	10 競技のべ 26 種目	5 競技のべ 8 種目

※競技によって個人・団体の両種目を実施している

#### イ 入賞者・校一覧

成績	競技名	種目	入賞者・入賞校名		
			氏名	学年	学校名
1位	陸上 サッカー 剣道 レスリング ヨット	男子ハンマー投 男子サッカー 女子団体 女子個人74kg級 男子コンバインド	浅利 磨海	3	守谷高等学校
			—	—	明秀学園日立高等学校
			—	—	守谷高等学校
			小原 春佳	3	鹿島学園高等学校
2位	—	—	—	—	霞ヶ浦高等学校
			—	—	—
3位	柔道 剣道 ヨット ボート 水泳(飛込) 水泳(飛込) 水泳(飛込)	男子個人81kg級	清水 天龍	3	水戸啓明高等学校
		男子団体	—	—	水戸葵陵高等学校
		男子レーザーラジアル級	本多 剛	1	霞ヶ浦高等学校
		男子420級	早川大翔・酒巻佑成・山内聡太郎	3・2・1	霞ヶ浦高等学校
		男子シングルスカル	須賀 優輝	3	潮来高等学校
		女子飛板飛込	坂田 丹寧	2	常総学院高等学校
		女子高飛込	坂田 丹寧	2	常総学院高等学校
女子学校対抗	—	—	常総学院高等学校		
4位	弓道 ヨット	男子個人	工藤 拓海	3	土浦第三高等学校
		男子420級	岩永燎汰・重松 陽	3・2	霞ヶ浦高等学校
5位	陸上 サッカー 柔道 剣道 レスリング 空手道	女子走高跳	谷口 愛弥子	3	竹園高等学校
		女子サッカー	—	—	鹿島学園高等学校
		女子個人70kg級	黒澤 希	3	水戸啓明高等学校
		女子個人	村田 結依	3	守谷高等学校
		男子個人125kg級	乾 志音	2	土浦日大高等学校
女子団体組手	—	—	東洋大牛久高等学校		
6位	陸上 ヨット ウエイトリフティング ウエイトリフティング 水泳(飛込) 水泳(飛込)	男子1000m	小室 歩久斗	2	つくば秀英高等学校
		女子420級	宮本あかり・鈴木しおん	3・1	霞ヶ浦高等学校
		男子+102kg級スナッチ	石井 陸人	2	水戸工業高等学校
		男子+102kg級トータル	石井 陸人	2	水戸工業高等学校
		男子飛板飛込	柴 大翔	3	土浦第一高等学校
		男子学校対抗	—	—	土浦第一高等学校
7位	陸上 ウエイトリフティング ウエイトリフティング 少林寺拳法	女子円盤投	藤田 結愛	1	東洋大牛久高等学校
		男子89kg級トータル	寺島 凜空	3	石岡第一高等学校
		男子+102kg級クリーンジャーク	胡麻田 明	1	高萩清松高等学校
		女子単独演武	小松崎 咲綺	3	土浦湖北高等学校
8位	ヨット ウエイトリフティング 水泳(飛込)	男子レーザーラジアル級	池田 航介	1	霞ヶ浦高等学校
		男子89kg級スナッチ	寺島 凜空	3	石岡第一高等学校
		男子高飛込	柴 大翔	3	土浦第一高等学校

※ベスト4は3位扱い、ベスト8は5位扱い

### 3 その他の全国大会

#### (1) 中学校

ア 第20回全国中学生弓道大会

(令和5年8月19日～20日／全日本弓道連盟中央道場、明治神宮武道場至誠館弓道場)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
4位	男子個人	武石 龍丸	2年	茨城中学校
5位	男子団体	—	—	阿見中学校

イ 沼尻直杯第49回全国中学生レスリング選手権大会

(令和5年6月10日～11日／アダストリアみとアリーナ)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
2位	男子62kg級	坂本 大星	3年	霞ヶ浦レスリングクラブ
2位	女子33kg級	佐々木 なつみ	1年	取手レスリングクラブ
2位	女子62kg級	大豆生田 麗	3年	ひたちなかレスリングクラブ
5位	女子42kg級	神谷 朱音	2年	取手レスリングクラブ
5位	女子58kg級	大川 光紀	2年	霞ヶ浦レスリングクラブ
5位	女子62kg級	横倉 凜々花	3年	水戸第四中学校

#### (2) 高等学校

ア 第57回全日本高等学校馬術競技大会

(令和5年7月24日～26日／静岡県御殿場市馬術・スポーツセンター)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
2位	団 体	—	—	真壁高等学校

イ 第61回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会

(令和5年7月28日～31日／広島県つつがライフル射撃場)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
6位	学校対抗戦 (BR男子)	—	—	取手第一高等学校

ウ 2023年度全国高等学校ゴルフ選手権大会

(令和5年8月5日～9日／栃木県宇都宮市サンヒルズカントリークラブ)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
2位	男子個人	渋井 晃太郎	1年	ルネサンス高等学校
2位	女子個人	長澤 愛羅	1年	ルネサンス高等学校
3位	女子団体	—	—	明秀学園日立高等学校
5位	女子個人	松原 柊亜	2年	ウェルネス高等学校
5位	女子個人	桑村 美穂	3年	ウェルネス高等学校

エ 第105回全国高等学校野球選手権記念大会

(令和5年8月6日～23日／兵庫県阪神甲子園球場)

成績	種 目	入賞者・入賞校名		
		氏 名	学 年	学 校 名
3位	硬式野球	—	—	土浦日本大学高等学校

## 10 部活動の特例措置について

### 1 特例措置の概要・申請

#### (1) 特例措置の考え方

生徒の心身の健康を守る観点から運営方針を策定したが、個々の生徒の意思・事情に配慮するため、一定の条件を満たした活動計画を、県が審査のうえ適当と認めた場合、特例的に許可する。

#### <特例措置の条件>

- ①科学的な指導体制の確立
- ②生徒・保護者が運営方針を超えて活動することに同意
- ③学校長の承認

#### (2) 申請数

31校 61部（運動部 58 文化部 3）

### 2 特例措置の審査

#### (1) 書類の精査（保健体育課）

- ・学校から活動計画の詳細を聞き取り、書類の不備の修正を依頼
- ・オンライン面談（管理職）を実施し、申請理由や学校の実情を聞き取り

#### (2) 審査会の開催（外部の有識者3名を含む）

#### <審査の視点>

- ・指導体制や活動計画、活動内容が適切か
- ・専門家の関わりと活用方法が適切か
- ・休養日の設定が適切か

#### ※外部審査員

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー  
茨城アストロプラネッツフィールドコーディネーター

### 3 審査の結果

	部活動名	学校数	学校名
1	硬式野球	11校	日立第一 日立北 水戸第一 水戸工業 水戸商業 水戸桜ノ牧 石岡商業 取手第一 藤代 下妻第二 守谷
2	バスケットボール	4校	水戸第一 土浦第二 取手第二 下妻第一
3	ソフトテニス	2校	鉾田第一 下妻第二
4	ハンドボール	2校	水海道第一 守谷
5	剣道	1校	取手第一
6	弓道	1校	石岡商業
7	空手道	1校	石岡商業
8	吹奏楽	1校	土浦第二

#### (1) 特例許可 16校 23部

#### (2) 不許可等 25校 38部

#### <内訳>

- ・オンライン面談後に、申請取下げ（9部）
- ・指導者資格条件の不備等（6部）
- ・運営方針の柔軟な運用での活動が可能と判断（9部）
- ・少人数の上、活動過多であり、生徒の健康を守れないと判断（14部）

#### 〔参考〕 運営方針の柔軟な運用の設定

- (1) 活動時間は、運営方針の平日2時間・休日4時間上限を基本とするが、週の合計12時間の中で、時間調整を可能とする。
- (2) 大会に向けた土日連続の活動許可の期間を、大会2週間前としていたが、競技等ごとに期間の設定を可能とする。



# 11 部活動地域移行の進捗について

学校教育部保健体育課

## 1 市町村の取組状況

(1) 国の実証事業を活用した取組【中学校休日部活動の地域移行支援】 … 18市町村で実施

区分	市町村名	備考
運動部 (13市町)	笠間市、小美玉市、茨城町、日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、神栖市、土浦市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市	実際に生徒活動を展開
文化部 (2市村)	石岡市、東海村	
体制整備 (3市)	水戸市、つくばみらい市、結城市 (茨城町) ※茨城町は重複	コーディネーター配置や協議会開催のみ

※石岡市、東海村 … 文化庁の追加募集による決定 (7/12)

(2) 市町村独自 (実証事業以外) の取組 … 東海村、利根町、下妻市

## 2 県の取組状況

(1) 県内企業・大学等への協力依頼

○企業 (12)、大学 (5)、プロ・実業団スポーツチーム (5)、団体 (4) に対し、地域クラブへの指導者派遣及び人材バンク登録、地域移行の取組の周知に関する協力を依頼

(2) 地域移行に係る市町村支援

○総括コーディネーターによる市町村訪問 (44市町村)

・地域の実情に応じた個別提案 (コンサルティング) を実施。その他、地域移行に係る指導・助言

○地域移行市町村担当者連絡協議会の開催 (第1回: 7/24、第2回: 8/29)

・地域移行に係るビジョン及び情報共有。実証事業実施市町村による事例報告、情報交換

○市町村検討委員会への総括コーディネーター派遣

・市町村の推進計画 (ロードマップ) 等の作成を支援

(3) 人材バンク

○県内指導者の人材バンクへの登録要請

○市町村への指導者紹介・マッチング体制の整備

## 3 今後の取組

(1) 担当者連絡協議会の定期開催 (オンライン含む)

(2) 市町村訪問・ヒアリング (未実施市町村訪問や次年度予算に伴うヒアリング)

(3) 人材バンクのシステム運用 (11月～)

## 12 台風第13号における被害状況及び県教育委員会の対応について

台風第13号における教育関係機関の被害状況及び県教育委員会の対応については、以下のとおりです。

### 1 人的被害 特になし

### 2 物的被害

#### (1) 市町村立教育施設 7校・2施設

市町村	施設区分	施設名	内容
日立市	学校	水木小学校	法面崩落
		山部小学校	法面崩落
		河原子小学校	進入路脇の擁壁が倒壊
		平沢中学校	法面崩落
	施設	郷土博物館	床下浸水
		多賀図書館	大規模な雨漏り
高萩市	学校	松岡小学校	床上浸水（校舎・体育館床上10センチ）
北茨城市	学校	華川小学校	床下浸水（体育館ステージ下倉庫へ流入）
東海村	学校	照沼小学校	床下浸水（一部の教室、約1000㎡）

#### (2) 県立教育施設 4校

施設名	内容
日立工業高等学校	法面崩落
日立第一高等学校	第二グラウンドへの浸水、土砂流入、防球ネット破損等
高萩高等学校	法面崩落
高萩清松高等学校	法面崩落

### 3 休校等措置状況

区分 期日	市町村立学校		県立学校		合計	
	臨時休校	短縮授業	臨時休校	短縮授業	臨時休校	短縮授業
9月8日(金)	63校	545校	8校	93校	71校	638校
11日(月)	2校	1校	0校	1校	2校	2校
12日(火)	2校	0校	0校	1校	2校	1校

※ 令和5年9月13日（水）より通常授業

### 4 県教育委員会の対応

日立市、高萩市及び北茨城市の各教育委員会からの要請を受け、小学校5校、義務教育学校1校に対して、スクールカウンセラーを緊急派遣。

令和 5 年 第 3 回 定 例 会

# 教 職 員 の 働 き 方 改 革 に つ い て

令 和 5 年 9 月 1 4 日

教 育 庁

# 1 教員の業務

## ① 教員の1日の業務（例）

		勤務時間												
		8:10										16:40		
小学校	登校指導	朝の会等	授業	給食指導	生徒指導	昼休・ 休憩	清掃指導	授業	帰りの会	下校指導	会議・ 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童会</li> <li>・行事等準備</li> <li>・生徒指導</li> <li>・保護者対応</li> <li>・学級等事務</li> <li>・校務事務</li> <li>・成績処理</li> <li>・授業準備</li> </ul>		
			<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓</div> 全体的な業務見直しにより 在校等時間を縮減 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;">             (例) ・専科指導教員の配置、時間割の工夫              ・ICTによる業務効率化              ・学校行事等の精選           </div>											
中学校	登校指導	朝の会等	授業	給食指導	生徒指導	昼休・ 休憩	授業	清掃指導	帰りの会	部活動	下校指導	会議・ 研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行事等準備</li> <li>・生徒指導</li> <li>・保護者対応</li> <li>・学級等事務</li> <li>・校務事務</li> <li>・成績処理</li> <li>・授業準備</li> </ul>	
			<div style="text-align: center; margin-bottom: 5px;">↓</div> 全体的な業務見直しにより 在校等時間を縮減 <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; margin-left: 20px;">             (例) ・会議のペーパーレス化              ・ICTによる業務効率化              ・部活動複数顧問制の適正化           </div>											

# 1 教員の業務

## ② 学校における主な年間行事等（中学校の例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校行事等	前期始業式 入学式 健康診断 家庭訪問 避難訓練 全国学力・ 学習状況調 査 PTA総会	体育祭 PTA奉仕作業 修学旅行 歯科検診	市総体 授業参観	地区総体 県総体 生徒総会 夏季休業	三者面談 PTA奉仕作業	期末試験 授業参観 避難訓練 市新人大会	前期終業式 後期始業式 県新人大会 文化祭 宿泊学習 県立高説明 会	3年三者面 談 県芸術祭	生徒会選挙 ボランティア 冬季休業	3年三者面 談 避難訓練	期末試験 県立高出願	県立高学力 検査 卒業式 修了式
調査・ 作成文書 等	<ul style="list-style-type: none"> <li>学籍関係</li> <li>学校概要</li> <li>教育課程 報告</li> <li>学校基本 調査</li> <li>時間割編 成</li> <li>児童生徒 名簿整理</li> <li>就学援助 関係書類</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康診断 関係書類</li> <li>校外学 習・体育祭 等参加確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業 計画</li> <li>授業参 観・懇談準 備</li> <li>進路希望 調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>三者面談 準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>成績処理</li> <li>後期分授 業準備</li> <li>夏季研修 レポート作 成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業 中の作品整 理</li> <li>文化祭準 備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種研究 発表会</li> <li>校内課題 研究等授業 準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>冬季休業 計画</li> <li>進路事務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路事務</li> <li>次年度教 育課程検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路事務</li> <li>次年度学 級編成</li> <li>児童生徒 要録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>進路事務</li> <li>成績処理</li> <li>次年度学 級編成</li> <li>児童生徒 要録</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度末各 種報告</li> <li>小学校等 との引継</li> <li>人事異動 事務</li> <li>次年度担 当引継</li> </ul>

## 2 全国の教員の勤務状況 — 文部科学省 教員勤務実態調査（令和4年度） —

### ① 1日あたりの在校等時間（小・中・高）

	H28調査		R4調査		差	（参考）月間時間外 在校等時間（概算） <small>※1月：20日として積算</small>
	在校等時間	うち時間外 在校等時間	在校等時間	うち時間外 在校等時間		
小学校	11:15	3:30	10:45	3:00	▲0:30	60:00
中学校	11:32	3:47	11:01	3:16	▲0:31	65:20
高等学校 <small>（H28は調査対象外）</small>	—	—	10:06	2:21	—	47:00

※ 全国の公立学校から小学校1,193校、中学校1,186校、高等学校299校を抽出し、令和4年10月、11月のうち、連続する7日間について調査。

## 2 全国の教員の勤務状況 —文部科学省 教員勤務実態調査（令和4年度）—

### ② 教員の業務及び1日の平均時間内訳（小・中・高）

主な業務内容	小学校	中学校	高等学校	備考（業務詳細）
授業等	5:49	5:02	5:16	授業（主、補助）、授業準備等
学習指導・成績処理	0:46	0:49	0:53	個別指導、宿題対応、採点、通知表作成等
生徒指導	1:02	1:08	0:34	給食・清掃指導、登下校指導、進路指導等
部活動・クラブ活動	0:03	0:37	0:40	
事務	0:20	0:22	0:21	国、県等からの調査等、給食費等徴収金事務、業務日誌作成、文書処理等
学級・学校経営	1:17	1:28	1:14	学校行事及び準備、学級活動、各種通信作成、教室内環境整備、職員会議、校務分掌業務
その他業務	1:28	1:35	1:08	朝の打合せ、校内研修、保護者連絡、PTA、来校者等対応、各種研修、校外の会議等
計	10:45	11:01	10:06	

# 3 全国の教員の勤務状況 — 文部科学省 教員勤務実態調査（令和4年度） —

## ③ 教員の業務負担（小・中）

	小学校			中学校		
	この業務は負担である	この業務にはやりがいがある	この業務は重要である	この業務は負担である	この業務にはやりがいがある	この業務は重要である
授業	2.60	3.62	3.88	2.38	3.64	3.88
成績処理	3.50	2.58	3.32	3.46	2.64	3.52
生徒指導	3.13	2.82	3.27	3.04	2.81	3.29
学校経営	3.34	2.53	3.04	3.27	2.52	3.01
部活動・クラブ活動	3.32	2.27	2.23	3.35	2.74	2.66
事務（調査回答等）	3.76	1.47	1.94	3.73	1.47	1.90
保護者・PTA対応	3.49	2.44	3.13	3.44	2.36	3.02

※上記のスコアは、教諭のうち、以下の4件法に基づく回答の集計結果の平均値。（1：全くそうでない、2：どちらかといえばそうでない、3：どちらかといえばそうである、4：そうである。）



### 3 本県における取組について

#### ① 本県における時間外在校等時間の状況 (R3～R4)

小学校等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	平均時間	44:57	40:05	42:45	29:54	4:31	37:24	36:13	35:01	29:31	27:09	32:22	37:36
令和3年度	平均時間	51:57	42:22	47:39	34:51	5:10	25:51	49:37	37:50	33:59	29:08	26:28	39:58

中学校等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	平均時間	56:54	54:44	56:24	43:33	10:43	51:03	50:15	47:35	38:30	37:54	41:08	43:31
令和3年度	平均時間	66:47	60:09	67:30	52:21	8:24	24:09	58:30	53:53	46:34	38:51	39:05	47:33

高等学校等		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	平均時間	31:28	30:30	31:31	27:16	11:16	28:00	28:33	26:11	22:21	22:24	23:14	20:37
令和3年度	平均時間	35:35	33:29	34:08	29:33	8:40	12:30	30:27	28:11	24:42	22:40	19:49	21:53

特別支援学校		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
令和4年度	平均時間	25:39	23:10	24:09	15:54	3:36	19:09	19:09	18:43	15:02	15:08	17:57	15:00
令和3年度	平均時間	30:56	24:34	26:20	17:52	3:42	7:45	20:29	20:30	18:06	15:35	15:32	17:02

※ 小学校等には義務教育学校前期、中学校等には義務教育学校後期・日立特支、高等学校等には中等教育学校、県立中学校を含む。

令和3年8月、9月、令和4年2月は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休校により、時間外在校等時間が大幅に少なくなっている。

### 3 本県における取組について

#### ② 県における業務削減・見直しに向けた取組

項目	取組
時間外在校等時間の管理	県内5教育事務所ごとに「働き方改革推進チーム」を設置（2021.1）
	県立学校の働き方改革のためのガイドライン（2021.4）
	啓発動画「教職員の働き方について」の公開（2021.9）
業務の削減・見直し	「茨城県市町村立小中学校教職員の業務見直しに係る提言」（2022.7）に基づく業務見直し
	国、県、市町村から学校へ依頼する調査の精査、見直し
ICTによる業務効率化	校務支援システムの導入、出勤簿等の電子化、紙文書の見直し
部活動改革	「茨城県部活動の運営方針」見直し（2022.12）、地域移行の推進
職員研修の実施	業務改善研修会、働きがい研修会

### 3 本県における取組について

#### ③ 学校における業務削減・見直しに向けた取組（市町村立、県立）

項目	業務見直し内容（例）
授業・授業準備	指導案・教材の電子化・共有化、専科指導教員の配置、時間割の工夫
成績処理	採点の電子化、通知表の記載内容等見直し
生徒指導	登下校指導等における民間ボランティア等の活用
学校経営	留守番電話の設置、授業時間数の見直し
学級経営	各種通信・連絡帳等の電子化、掲示物の見直し
事務	文書事務等の電子化、給食費の公会計化
保護者・PTA対応	保護者との連絡の電子化
部活動	運営方針の順守、地域移行、部活動数の精選、複数顧問制